事 業 評 価 書

| 補 助 事 業 名 | 教育文化施設:村山学園放送設備改修工事 | | | | |
|------------------------|--|-----------|-------|------------|------------|
| 補助事業者名 | 武蔵村山市長 | | | | |
| 実 施 場 所 | 武蔵村山市緑が丘1460(村山学園第四小学校・村山学園第二中 | | | | |
| 天 旭 勿 川 | 学校) | | | | |
| | 村山学園第四小学校放送設備及び村山学園第二中学校放送設備 | | | | |
| | は、平成20年に改修しているが、機器の保証期限が過ぎており、 | | | | |
| | 故障時の部品の調達が非常に困難な状況である。 | | | | |
| 補助事業の成果の目標 | また、機器の老朽化に伴い機器の劣化が著しく、学校運営に支障した。サインスとはなった。世帯技術では、これでも現代している。 | | | | |
| | を来している。また、非常放送設備についても平成13年に設置している。また、非常放送設備についても平成13年に設置している。 | | | | |
| | ており更新の時期を迎えている。 このことから、非常用を含め放送設備を一式改修し、児童及び生 | | | | |
| | このことから、非常用を古め放送設備を一式以修し、児里及び生 徒の学習及び生活の場である教育環境の改善と災害時の避難誘導 | | | | |
| | 一体の子首及び生活の場である教育環境の以書と火音時の避難誘導 等安全の確保を図るものである。 | | | | |
| | 「参考指標] | | | | |
| | 村山学園第四小学校児童数 349人(令和5年5月1日現在) | | | | |
| | 村山学園第二中学校生徒数 192人(令和5年5月1日現在) | | | | |
| 補助事業の内容 | 非常放送設備、音声映像調整卓 | | | | |
| 補助事業の始期及び終期 | 令和3年度~令和5年度 | | | | |
| 事業費及び交付金額 | | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | |
| | 事業費 | 円 | 円 | 円 | 円 |
| | | 2,310,000 | 0 | 39,600,000 | 41,910,000 |
| | 交付金額 | 円 | 円 | 円 | 円 |
| | | 2,000,000 | 0 | 19,000,000 | 21,000,000 |
| | 【補助事業の成果及び評価】 | | | | |
| | 学校の教員及び学校関係者等(児童等)からの声をヒアリングし | | | | |
| 活出事業の出用など 証圧 | た結果、「調整卓の操作がしやすくなった」などの声が聞かれ、当 | | | | |
| | 該事業により教育環境の維持が図られていることを確認すること | | | | |
| 補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知 | 等に非常通報装置が使いやすくなったとのことであった。 | | | | |
| の実施状況 | 【地域住民への周知の実施状況】 | | | | |
| | ・市ホームページに掲載 | | | | |
| | ・「教育むさしむらやま」(令和6年4月1日発行予定)で保護者に | | | | |
| | 通知 | | | | |
| | ・工事完了後に当該施設に補助事業であること明示 | | | | |
| 事業の改善措置及び今後 | 事業の改善措置はないが、市内には同様に改修が必要な学校があ | | | | |
| の対応 | るため、今後も順次計画し事業を実施していく。 | | | | |
| 事業の評価に際しての第 | 無 | | | | |
| 三者機関の活用の有無 | \ <u>\</u> | | | | |